

森孝中学校ブロックにおける小学校の統合に関する説明・意見交換会

1 小規模校の特徴

下記のような小規模校の課題を解決しつつ、小規模校のよさを残しながら、児童にとってよりよい教育環境にするため、小学校ではすべての学年でクラス替えのできる12学級以上が必要であると考へます。

平成31年に策定された「ナゴヤ子どもいきいき学校づくり計画」における小規模校の特徴は次のとおりです。

【小規模校のよさ】

- 学校行事で、すべての児童・生徒に活動の場を与えやすい。
- 異学年の交流が図りやすい。
- 一人ひとりの児童生徒にきめの細かい指導がしやすい。

【教育面の課題】

- 日々の学校生活の中で、様々な考へ方や価値観に出会い、社会性や協調性、コミュニケーション能力を伸ばす機会が限られる。
- 子どもたちの実態に応じたクラス替えが困難であるため、人間関係の固定化や男女比の偏りが生じやすい。
- クラス同士が切磋琢磨する教育活動ができない。
- 運動会・文化祭・遠足等の集団活動・行事の教育効果が下がる。
- 児童生徒から多様な発言が引き出しにくく、授業展開に制約が生じる。
- 体育の球技や音楽の合唱・合奏のような集団学習、班活動やグループ分けなどに制約が生じる。
- 教科等が得意な子どもの考へにクラス全体が引っぱられがちとなる。
- 指導上課題がある子どもの問題行動にクラス全体が影響を受けやすくなる。

【学校運営面の課題】

- 子どもたちの良さが多面的に評価されにくくなる可能性がある。
- 小規模校では教員数が少ないため教員一人あたりの校務や行事に関わる負担が重くなる。
- 経験年数、専門性、男女比等のバランスが取れた教員配置やそれらを生かした指導の充実が困難となる。
- 学級の枠を越えた習熟度別指導や、学年内の役割分担による専科指導等の多様な指導形態をとることが困難となる。

2 小学校と中学校の併設

小学校と中学校の併設は、小中一貫教育校として同じ教育目標をもとに同一敷地内の同一校舎で9年間を見通した小中学校の教職員の連携した指導により、小中学校の接続を円滑にし、児童生徒の育ちをより豊かで確かなものにする学校と考へています。名古屋市では笹島小中学校が、小中一貫教育校として設置されています。小中一貫教育校の特徴として、次のようなことが考へられます。

【小中一貫教育校のよさ】(一例)

- 9年間を見通して教育課程や指導方法を工夫・徹底することで、基礎学力や学ぶ意欲を向上させ、個性や能力を伸ばすことができる。
- 小から中への移行によって生じる子どもの心理的負担を軽減し、小中学校がスムーズに連携できる。(中1ギャップの解消、差が緩やかになる。)
- 小中学校の教職員の協同体制により、継続的に学習や生活指導ができる。(同一職員室の場合)
- 小学校高学年における一部教科担任制により、各科専門の教員が授業を担当し、わかりやすいとの声がある。
- 幅広い学年集団での交流活動や小中合同の学校行事により、年齢を超えた子どもたちの関わり合いが生まれる。
- 縦割りの活動を通して、上級生へのあこがれの気持ちが高まりやすい。
- 中学生の下級生に対する思いやりや、役割への責任感が高まりやすい。

【小中一貫教育校の課題】(一例)

- 9年間同じなので、人間関係が固定化しやすく、閉塞感が生じやすい。
- 中学校入学・進級の新鮮さが失われる。
- 小学生が中学生の影響(行動や言動など)を受ける可能性があり、生徒指導上の配慮が必要になる。
- 6年生のリーダー性が育ちにくくなる。

※なお、笹島小中学校では、中学生はスクールランチです。(給食の実施については、児童生徒や保護者の意見も伺いながら検討する予定です。)

3 しょうがっこう ちゅうがっこう げんじょうとう
小学校・中学校の現状等

ほんじがおかしょうがっこう
【本地丘小学校】

がっきゅうすう じどうすう
(1) 学級数・児童数

ねん 1年	ねん 2年	ねん 3年	ねん 4年	ねん 5年	ねん 6年	とくし 特支
がっきゅう 1学級						
にん 17人	にん 11人	にん 15人	にん 26人	にん 17人	にん 18人	にん 2人
にん 106人						

とくし とくべつしえんがっきゅう い かおな
 特支：特別支援学級（以下同じ）

こんご み こ とくべつしえんがっきゅう にんずう がっきゅうすう みく
(3) 今後の見込み（※特別支援学級の人数・学級数は含みません。以下同じ。）

れいわがねん 令和元年	れいわ ねん 令和2年	れいわ ねん 令和3年	れいわ ねん 令和4年	れいわ ねん 令和5年	れいわ ねん 令和6年	れいわ ねん 令和7年
がっきゅう 6学級						
にん 104人	にん 102人	にん 105人	にん 92人	にん 88人	にん 85人	にん 76人

もりたかひがししょうがっこう
【森孝東小学校】

がっきゅうすう じどうすう
(1) 学級数・児童数

ねん 1年	ねん 2年	ねん 3年	ねん 4年	ねん 5年	ねん 6年	とくし 特支
がっきゅう 1学級	がっきゅう 1学級	がっきゅう 1学級	がっきゅう 1学級	がっきゅう 1学級	がっきゅう 1学級	がっきゅう 2学級
にん 24人	にん 27人	にん 26人	にん 34人	にん 29人	にん 34人	にん 3人
にん 177人						

こんご み こ
(3) 今後の見込み

れいわがねん 令和元年	れいわ ねん 令和2年	れいわ ねん 令和3年	れいわ ねん 令和4年	れいわ ねん 令和5年	れいわ ねん 令和6年	れいわ ねん 令和7年
がっきゅう 6学級						
にん 174人	にん 161人	にん 153人	にん 144人	にん 140人	にん 134人	にん 129人

もりたかにししょうがっこう
【森孝西小学校】

がっきゅうすう じどうすう
(1) 学級数・児童数

ねん 1年	ねん 2年	ねん 3年	ねん 4年	ねん 5年	ねん 6年	とくし 特支
がっきゅう 2学級	がっきゅう 1学級	がっきゅう 1学級	がっきゅう 2学級	がっきゅう 2学級	がっきゅう 2学級	がっきゅう 1学級
にん 44人	にん 33人	にん 38人	にん 41人	にん 41人	にん 48人	にん 2人
にん 247人						

がっく みしゅうがくじすう
(2) 学区の未就学児数

さい 0歳	さい 1歳	さい 2歳	さい 3歳	さい 4歳	さい 5歳
にん 12人	にん 15人	にん 19人	にん 19人	にん 28人	にん 18人
にん 111人					

がっく みしゅうがくじすう
(2) 学区の未就学児数

さい 0歳	さい 1歳	さい 2歳	さい 3歳	さい 4歳	さい 5歳
にん 28人	にん 31人	にん 30人	にん 33人	にん 26人	にん 25人
にん 173人					

がっく みしゅうがくじすう
(2) 学区の未就学児数

さい 0歳	さい 1歳	さい 2歳	さい 3歳	さい 4歳	さい 5歳
にん 47人	にん 40人	にん 53人	にん 33人	にん 55人	にん 47人
にん 275人					

こんご み こ
(3) 今後の見込み

れいわがねん 令和元年	れいわ ねん 令和2年	れいわ ねん 令和3年	れいわ ねん 令和4年	れいわ ねん 令和5年	れいわ ねん 令和6年	れいわ ねん 令和7年
がっきゅう 10学級	がっきゅう 10学級	がっきゅう 9学級	がっきゅう 7学級	がっきゅう 8学級	がっきゅう 8学級	がっきゅう 8学級
にん 245人	にん 239人	にん 236人	にん 219人	にん 219人	にん 211人	にん 203人

もりたかちゅうがっこう
【森孝中学校】

がっきゅうすう せいとすう
(1) 学級数・生徒数

れいわがねん 令和元年	れいわ ねん 令和2年	れいわ ねん 令和3年	れいわ ねん 令和4年	れいわ ねん 令和5年	れいわ ねん 令和6年	れいわ ねん 令和7年
がっきゅう 9学級	がっきゅう 9学級	がっきゅう 9学級	がっきゅう 8学級	がっきゅう 7学級	がっきゅう 7学級	がっきゅう 6学級
にん 288人	にん 266人	にん 260人	にん 253人	にん 232人	にん 215人	にん 197人

とうごう あん
4 統合（案）

もりたかちゅうがっこう ぼしよ ほんじがおかしょうがっこう もりたかひがししょうがっこう もりたかにししょうがっこう とうごう もりたかちゅうがっこう
 森孝中学校の場所で、本地丘小学校、森孝東小学校、森孝西小学校を統合し、森孝中
 学校と併設をする。

せんていりゆう
(1) 選定理由

- 森孝中学校ブロックの小学校は全て小規模校であり、本地丘小学校と森孝東小学校の統合では12学級以上とならず、また、森孝西小学校も今後、小規模校が解消される見込みがない。
- 森孝中学校の場所が森孝中ブロックのほぼ中心に位置しており、通学距離が概ね2km以内となる。

がっきゅうすう じどうすう
(2) 学級数・児童数

げんじてん こう とうごう かにい ばあい
 ※現時点で3校が統合していたと仮定した場合

ねん 1年	ねん 2年	ねん 3年	ねん 4年	ねん 5年	ねん 6年	とくし 特支
がっきゅう 3学級	がっきゅう 3学級	がっきゅう 2学級	がっきゅう 3学級	がっきゅう 3学級	がっきゅう 3学級	がっきゅう 3学級
にん 85人	にん 71人	にん 79人	にん 101人	にん 87人	にん 100人	にん 7人
にん 530人						

みしゅうがくじすう
(3) 未就学児数

さい 0歳	さい 1歳	さい 2歳	さい 3歳	さい 4歳	さい 5歳
にん 87人	にん 86人	にん 102人	にん 85人	にん 109人	にん 90人
にん 559人					

こんご み こ こう とうごう かにい ばあい
(4) 今後の見込み ※それぞれ3校が統合したと仮定した場合

れいわがねん 令和元年	れいわ ねん 令和2年	れいわ ねん 令和3年	れいわ ねん 令和4年	れいわ ねん 令和5年	れいわ ねん 令和6年	れいわ ねん 令和7年
がっきゅう 17学級	がっきゅう 16学級	がっきゅう 16学級	がっきゅう 14学級	がっきゅう 15学級	がっきゅう 14学級	がっきゅう 14学級
にん 523人	にん 502人	にん 494人	にん 455人	にん 447人	にん 430人	にん 408人

(5) 通学距離（最も遠い地点からの距離）

本地丘学区（本地が丘） 森孝東学区（白山二丁目・森孝東二丁目） 森孝西学区（森孝一丁目）	～ 森孝中学校 ～ 森孝中学校 ～ 森孝中学校	1.8 km 1.8 km 1.4 km
--	-------------------------------	----------------------------

5 施設の現況等

区分	本地丘小学校	森孝東小学校	森孝西小学校	森孝中学校
校地 面積	15,920 m ² (自然林6,520 m ²)	13,320 m ²	15,006 m ²	16,545 m ²
普通 教室数	27教室	15教室	22教室	21教室
校舎	南校舎棟 昭和47年築(築47年)	みなみ校舎棟(東) 昭和53年築(築41年) 北校舎棟 昭和53年築(築41年) 西校舎棟 平成3年築(築28年)	北校舎棟(東) 昭和53年築(築41年) 北校舎棟(西) 昭和53年築(築41年) 特別教室棟 昭和57年築(築37年)	北校舎棟(西) 昭和55年築(築39年) 北校舎棟(東) 昭和58年築(築36年) 格技場棟 昭和60年築(築34年)
体育館	体育館棟 昭和47年築(築47年)	体育館 昭和54年築(築40年)	体育館棟 昭和53年築(築41年)	体育館棟 昭和55年築(築39年)
沿革	昭和49年 大森小学校から分離	昭和54年 本地丘小学校から分離	昭和55年 天子田小学校から分離	昭和56年 大森中学校から分離
学区 面積	0.266 km ²	0.553 km ²	0.720 km ²	
学区人口 総数	3,347人	4,606人	7,466人	

6 統合について

- 統合校のあり方は、原則として、統合により一方の学校を残し、他方の学校を廃止するのではなく、新しい学校を開設するという考え方で、各校の特色や良さを継承・発展させるよう統合後の学校づくりに取り組みます。
- 新たな人間関係をスムーズに構築できるよう児童相互の交流活動を実施します。

(3) 統合校への教員の配置に際しては、児童や保護者・地域等を理解した教育が継続できるよう、統合前の学校の教員をバランスよく配置できるようにします。

(4) 通学の安全については、関係行政機関（警察や土木事務所等）と連携を図り、地域ごとの通学路や交通状況の特性を踏まえ、通学の安全確保に取り組みます。

(5) 統合により使用しなくなる校地や校舎については、防災拠点等、地域に必要な機能に配慮しながら余剰となる資産の有効活用を全市的な視点で検討します。

(6) これまでの統合校の地域活動は、いずれの地域も統合前と変わらずに従前の学区組織の単位で行われています。

7 今後の予定

説明・意見交換会で頂いたご意見・ご質問等については、後日、たよりを発行し、保護者・地域の皆様にお知らせします。また、本日頂いたご意見・ご質問等を踏まえ、さらに保護者や地域の皆様の声をお聞きするとともに、教育委員会から丁寧にご説明することを予定しています。

※資料中の数値は、いずれも令和元年度時点です。

